

ホットイナズマ編

問：サン自動車工業
TEL：03-3708-3333 <http://www.sun-auto.co.jp/>



0→200m
装着前→9.81秒
装着後→9.70秒

手軽だけれども確実な タイムアップが達成できた

★★★今回取り付けしたパーツ★★★

ホットイナズマ ハイパー
●価格：2万4990円
バッテリーの電圧を整え、瞬時に大電流を取り出せる電装系チューニングの定番アイテム。

システムアップキット
●価格：4179円
ホットイナズマ本体に加える、いわゆるアーシングコード。低抵抗ケーブルに金メッキ端子を採用する。

マイナスは何一つないで気軽にトライできる

「家族全員で快適にドライブできるチャイルドシート付きミニバン」とのコンセプトゆえ1号機よりチューニング範囲が狭く、大がかりなことではできない2号機の編集部デモカーエステイマ。前回のSEVが予想以上の効果を得たことで担当はすっかり上機嫌。というわけで、今回も細かい部分から攻めるよとばかりに探してきた「ホットイナズマ」点火系チューニングの定番だけに愛用者も多い信頼の一品だ。

バッテリーは構造上、急激な電気の供給に対応しにくく、またその際の電圧も不安定になりがち。そこでホットイナズマ。あらかじめバッテリーからの電気を適度に蓄え、しかも素早く供給する特性を持つているため、ここを通せば電圧変動の少ない電気をレスポンス

ス良く送り出せ、急加速時などのパワーアップにつながるという理屈なのだ。まあ原理はともかく、愛用者が多い上に評判もいい事実には確実な効果の証明。装着する価値十分と見た。

装着は素人作業でも簡単。それこそ5分程度で終わるほどだが、今回はアーシングのシステムアップキットも追加したため、その分時間がかかってしまった。しかしながら装着後は全然と並んだ赤いケーブルが美しく、高性能な雰囲気が漂う。タイム計測への期待も膨らむ。

1号機と同じくPIVOTスピードマスターVを用いた結果は、1回目9秒70、2回目9秒75、3回目は1回目と同じ9秒70の。現時点で1号機に遅れること約1・5秒だが、チューニング内容や装備が充実している分の重量増を考慮すれば立派。今後はさらに細かい部分を詰めて0・2秒落ち程度にまで伸ばしたい。



これがシステムアップキットも装着した完成状態。3本中、2本はエンジンヘッド片バンクそれぞれに、もう1本はオルタネーターに接続している。これで恐らく電気系は抜かりなし状態はず。

今回計測に使った便利アイテムはコレだ!!

ホットイナズマを取り付けてみよう

本体の取り付け自体はとっても簡単に行える



1 バッテリーのプラスターミナルに本体のプラス側コード端子を接続。まずは絶縁カバーを外し、サジがあれば除去。



2 ターミナルに付いたボルトを緩め本体コード端子をはめ込む。この時、他の金属部分やボディには触れないこと。



3 プラス側接続完了。この後、絶縁カバーに切れ目を入れて被せると安全性アップ。面倒かもしれないが、ぜひ行おう。



4 マイナス側はバッテリーターミナルを外して作業。プラス側と同様にボルトを緩め、端子を接続後、固定する。



5 ターミナルを戻して終了。もちろんこの作業中もプラス側も同様、プラスターミナルや金属部分には触れないこと。

今回装着したホットイナズマハイパー。ご覧の通りケーブル2本を備えた本体と1か所にアーシングするためのケーブルが付属。カラーはどうせ付ける以上は、と考えるよりも高性能イメージ&目立つレッドをチョイスしたが、他にもブルーやゴールドなど全5タイプから選べる。



6 配線が終了したら本体の固定。両面テープが確実に固定できる場所を見つけ、表面の油分や汚れをしっかりと除去。



7 両面テープは本体裏面にあらかじめ装着されているため裏紙を剥がして固定場所に置くだけの簡単作業。



8 位置を決めて置いたら上からグッと押し付ける。これで装着はすべて完了。かなり強力に固定され、安心。



9 付属のアーシングケーブルをエンジンヘッドに接続。基本的には金属部分ならどこでも良く、適当なボルトと共締め。



10 システムアップキットの長いケーブルはオルタネーター、短いケーブルはもう一方のエンジンヘッドに接続。